

## 福崎町地域公共交通網形成計画(素案)にかかるパブリックコメントに対する回答について

(募集期間:平成30年3月1日～3月15日)

### 【意見の内容及び意見に対する回答】

番号	意見	回答
1	素案P13で福崎駅・溝口駅のバリアフリー化の文章が記されているが、それを補完する溝口駅の写真がバリアフリー化されているのが分かりづらい。もう少し、俯瞰気味にしてスロープが映る写真にすべきと考える。	ご意見ありがとうございます。ご意見のとおりスロープが分かりやすい写真に変更させていただきます。(別紙1ページ参照)
2	素案P67に記載されている郊外便(川東C及び川東D)の買い物バスの表現について、P64の郊外便(川東C及び川東D)との違いが不明瞭で誤解を生じる可能性があるため、表現の修正が必要と思われる。	ご意見ありがとうございます。ご意見のとおりP67に記載している郊外便について、川東C及び川東Dの一部という表現に修正させていただきます。(別紙2ページ参照)
3	素案P83に「6.3 計画達成状況の評価及び見直し」の項目が掲載されており、検証・評価において、事業進捗や数値目標の達成状況の確認とある。PDCAサイクルを回して、着実に事業を推進するには、評価の基準、確認後の改善や計画へのフィードバックの説明が必要と考えます。	ご意見ありがとうございます。協議会の中で2年毎に施策事業等の検討を行い、フィードバックするよう計画書の表現を修正させていただきます。(別紙3ページ参照)
4	福崎駅周辺整備事業の推進(第2期)福崎駅へのアクセス性の向上を目指す上で、福崎駅周辺の住民の暮らしやすさ及び福崎駅利用者への安全性も考えていただきたい。調査結果により福崎駅利用者のアクセス方法が、徒歩や自転車利用(主に学生)が多数を占めているということもあり、交差点「福崎新」北側(ひのストア側)から福崎駅までの道路を、徒歩や自転車で利用している人を多く見かける。近くには小学校もあり、朝夕の通学時には当該道路を横断する児童も多く、また道路沿いの商店、特に福崎新交差点北側のひのストアや郵便局は近所の年配者の利用も多いことや、駐車場の関係で横断せざるを得ない状況である。そのような状況の中、現在福崎新交差点の道路案内標識では、北向き及び西向きともに、福崎駅へのアクセスについては当該道路を通るように表示されており、道幅が狭いにも関わらず大型バスやトラックの侵入で大変危険なときもある上、当該道路には信号機が無いことや福崎駅までの距離が若干近いこともあり一般車の交通量もとても多いので、徒歩や自転車利用者、また近隣の住民にとって安全とは言い難い。今現在も福崎駅への送迎車も多く、更に今後、福崎駅整備や観光客誘致、交通網形成により自動車交通量や観光客の増加が見込まれるのなら、福崎町地域公共交通網形成計画に、福崎駅へのアクセスについては路線バスの運行経路と同じ経路を案内するなど、交通弱者への安全対策や住みよいまちづくりのための対策も含めていただきたい。	ご意見ありがとうございます。ご意見のとおり福崎駅へのアクセスの向上を目指すうえで、周辺住民の暮らしやすさ及び駅利用者への安全性の確保は重要と考えております。ご指摘の状況については町も認識しております。ご指摘の道路標識の設置箇所は国道312号であり設置者は兵庫県となるため協議も必要となります。当該地区については、平成21年に兵庫県より「福崎ユニバーサル社会づくり推進地区」にも指定されており、今後第2期工事により福崎駅田原線の延伸工事などを進める中で道路整備とともにサイン看板などのユニバーサルデザイン化も併せて進め、住民の方々や利用者が安心・安全に生活や利用を行い、快適に活動できるような人に優しいまちづくりを目指していきたいと考えており、ご意見を参考として本編の内容を修正させていただきます。(別紙4～5ページ参照)